

量的アプローチと質的アプローチの比較

観点	量的アプローチ（量的研究法）	質的アプローチ（質的研究法）
データ	数値	言語
現象の捉え方	断片的, 数値化, カテゴリ化	ありようをそのままに, 生き生きとした
視点	客観的	主観的
研究の方向性	法則化	定式化, 理論化
立場	論理実証主義	社会構成主義
研究スタイル	仮説検証型	仮説生成型
変数の設定	仮説の導出過程, データ収集前に決定	研究の過程で探索
研究の流れ	直線的	循環的
抽出したい特性	全体傾向, 母集団特性	固有性, 一般性
標本	母集団からの代表標本	テーマ関連標本
比較対象	統制群, 参照群	明確には意識されない
データ収集法	実験, 検査, 調査	面接, 観察, 調査
個体差	誤差, 残差	固有性
測定・評価	テスト理論, 教育測定	アセスメント, 教育評価
分析法	統計分析法	質的分析法
結果の提示	数値, 変数や個体間の関連図	言語, 事象や概念間の関連図
結果の評価	信頼性, 妥当性, 有意水準, 決定係数	メンバーチェック, リフレクシヴィティ

石井秀宗 (2021). 量的アプローチと質的アプローチ (計量心理学) 金井篤子(編) 心理臨床実践のための心理学  
 ナカニシヤ出版 pp.19-28.